

クオリティインディケーター(QI)成果報告 〔腫瘍内科〕

指標名

腫瘍センターの円滑な運用

目標・ゴール

腫瘍センターの待ち時間を減らす。

腫瘍センターの待ち時間の平均が 15 分以内になるようにする。

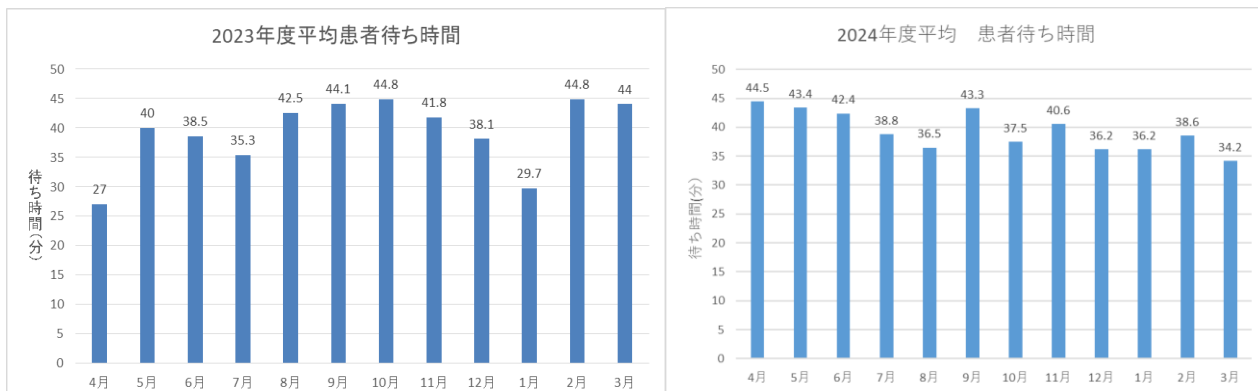
目標・ゴール達成による効果

腫瘍センターの待ち時間が減り、患者サービスが向上する。

17 時までに化学療法が終了し、職員の労働環境が改善する。

目標・ゴールに対する成果の状況

腫瘍センターの円滑な運用：前年に引き続き、腫瘍センターで化学療法を受けた患者の待ち時間の集計を行った。平均待ち時間 40 分台の月は、2022 年度 3 ヶ月、2023 年度 7 ヶ月、2024 年度 5 か月だった。患者数増加もあり待ち時間の延長傾向を認める。目標達成は難しい状況である。



目標・ゴール達成度

□S :大幅に目標を上回った

□A⁺:目標を多少上回って達成

□A :目標を達成

□B⁺:目標を少し下回った

☒B : 目標を下回った

□C :目標を大幅に下回った

□ー :外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

前年度も15分以内という目標は達成できなかった。がん薬物療法の進歩とともに腫瘍センターを利用する患者数は年々増加傾向であり、目標の達成は厳しい状況である。

腫瘍内科の待ち時間の是正、ますます増加する外来化学療法のニーズに対応するため、本年度、腫瘍センター3ラウンド化プロジェクトを関係部署と立ち上げた。この取り組みを通じ、腫瘍センターの更なる円滑な運用を図っていきたい。

現実的な目標として、待ち時間の平均が30分以内になるように改善していく。